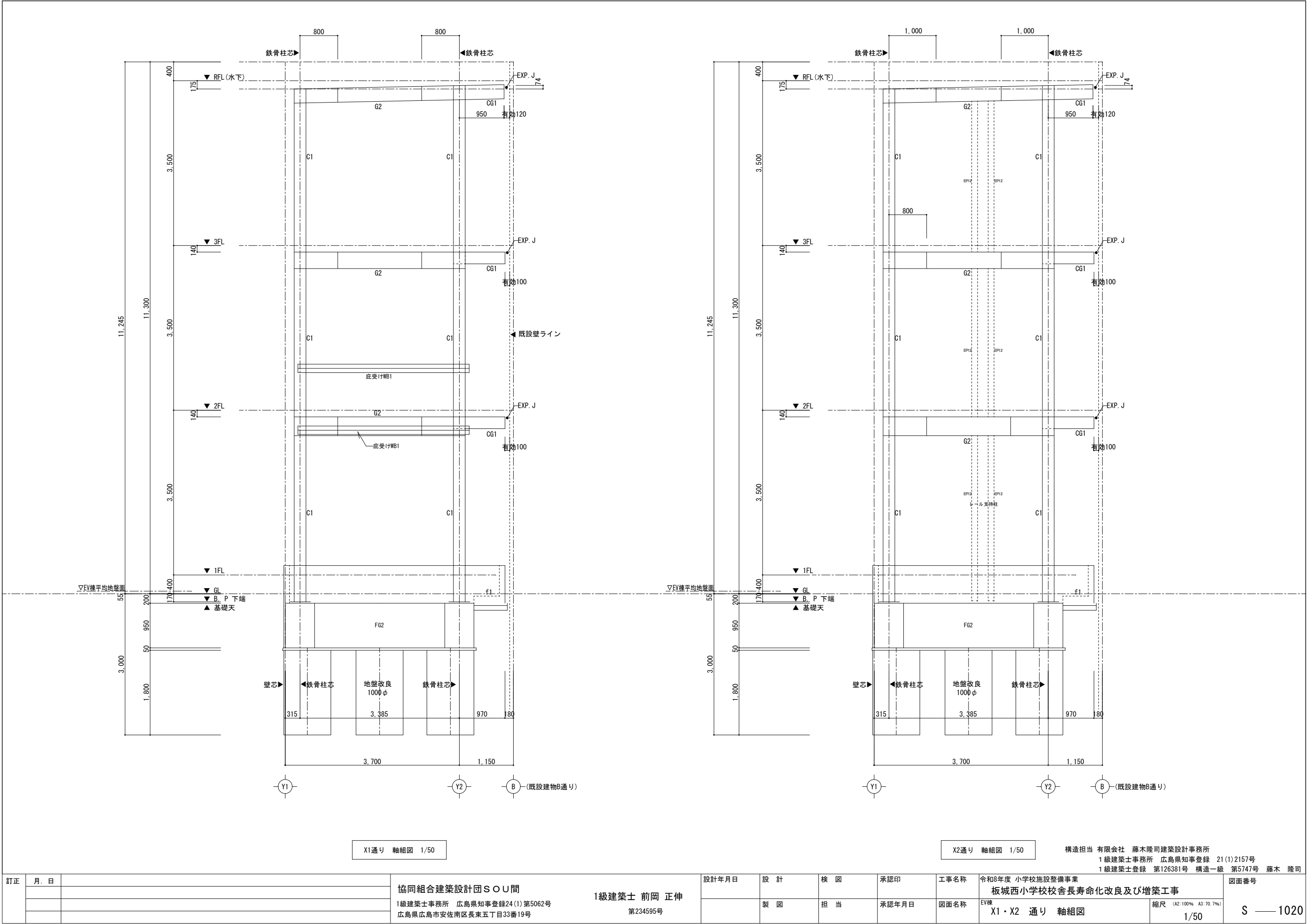




X1通り 軸組図 1/50

X2通り 軸組図 1/50

構造担当 有限会社 藤木隆司建築設計事務所
1級建築士事務所 広島県知事登録 21(1)2157号
1級建築士登録 第126381号 構造一級 第5747号 藤木 隆司

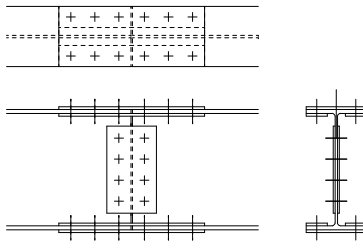
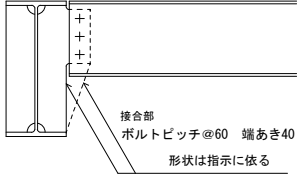
訂正	月 日		協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称 令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事	図面番号 S — 1020
						製 図	担 当	承認年月日		

部材断面リスト			
名称	符号		備 考
柱	C1	3	□-250×250×12
		2	□-250×250×16
		1	□-250×250×16
名称	符号		備 考
大梁	G1	R	H-300×150×6.5×9
		3	H-350×175×7×11
		2	H-400×200×8×13
	G2	R	H-300×150×6.5×9
		3	H-350×175×7×11
		2	H-400×200×8×13
	CG1	R	H-300×150×6.5×9
		3	H-250×125×6×9
		2	H-250×125×6×9

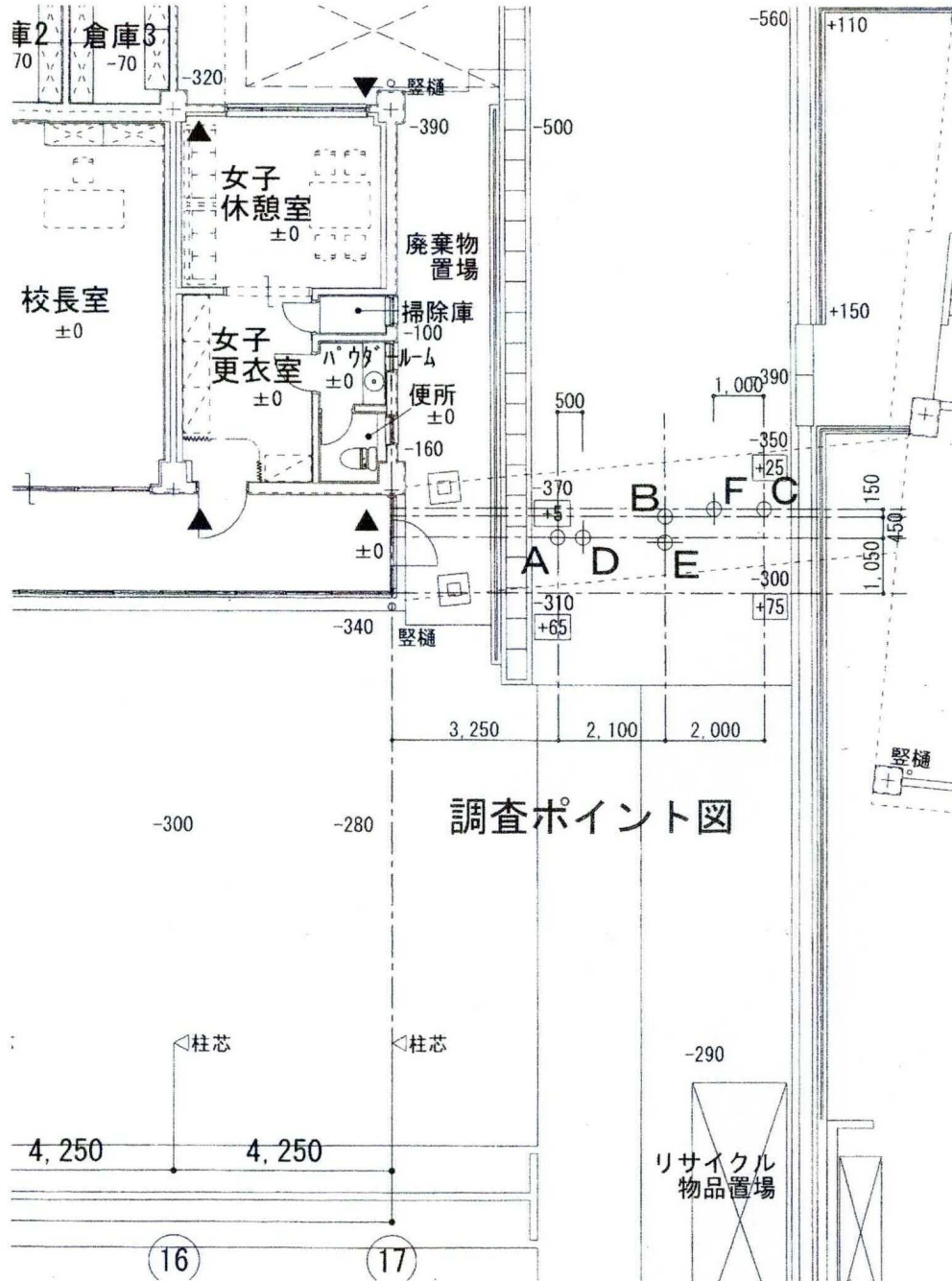
名称	符号	部 材	備 考
小梁	2～RB1	H-200×100×5.5×8	仕口部は右図参照
	2～RB2	H-250×125×6×9	
	2～RB3	H-250×125×6×9	
	RB4	H-150×150×7×10	
底受け	WB1	2 L-125×90×13	PL-6 2-M16

鋼材材種

柱	特記無き限り	BCR295
大梁	特記無き限り	SN400
小梁	特記無き限り	SS400
ボルト	特記無き限り	S10T
タイヤワシ	特記無き限り	SN490C SN490B

接 合 部															
共 通 事 項															
1 継手は小さい方のサイズ'に対して 選択する。 2 ス'ライズ,が'ット等は主材と 同材質とする。 3 HTBは S-10Tとする。 4 溶融亜鉛めっき部分の摩擦面は プラスト処理を行う事 5 ス'ライズは2面せん断とする。															
継 手															
標準図 															
ス'ライズ巾 <table><tr><th>B</th><th>b</th></tr><tr><td>125</td><td>50</td></tr><tr><td>150</td><td>60</td></tr><tr><td>175</td><td>70</td></tr><tr><td>200</td><td>80</td></tr><tr><td>250</td><td>100</td></tr><tr><td>300</td><td>115</td></tr></table>		B	b	125	50	150	60	175	70	200	80	250	100	300	115
B	b														
125	50														
150	60														
175	70														
200	80														
250	100														
300	115														
仕 口															
標準図 															
シリーズ	採用	フランジ	ウェブ	採用	ウェブ										
		ス'ライズ	H. T. B (×4)	ス'ライズ	H. T. B (×2)										
150	H-150x75x5x7					PL- 6	2-M16								
	H-150x150x7x10	PL-9	4-M16	PL- 9	3-M16		PL- 6	2-M16							
200	H-200x100x5. 5x8	PL-12 (外のみ)	4-M16	PL- 6	2-M16		PL- 6	2-M20							
	H-194x150x6x9	PL-9	4-M16	PL- 6	2-M16		PL- 6	2-M16							
	H-200x200x8x12	PL-9	4-M20	PL- 6	2-M20		PL- 9	2-M16							
250	H-248x124x5x8	PL- 6 (外) PL- 9 (内)	4-M16	PL- 6	2-M16		PL- 6	2-M16							
	H-250x125x6x9	PL-12 (外のみ)	6-M16	PL- 6	4-M16		PL- 6	3-M20							
	H-244x175x7x11	PL- 9	4-M20	PL- 9	2-M20		PL- 9	3-M20							
300	H-298x149x5. 5x8	PL- 6 (外) PL- 9 (内)	4-M16	PL- 6	3-M16		PL- 6	3-M20							
	H-300x150x6. 5x9	PL- 9	4-M20	PL- 6	2-M20		PL- 9	4-M22							
	H-294x200x8x12	PL- 9	6-M20	PL- 9	3-M20		PL- 9	3-M20							
350	H-340x250x9x14	PL- 12	6-M22	PL- 9	3-M22		PL- 9	3-M20							
	H-346x174x6x9	PL- 9	6-M16	PL- 6			PL- 9	4-M20							
	H-350x175x7x11		PL- 9	4-M20	PL- 6	3-M20	PL- 9	4-M20							
400	H-396x199x7x11		PL- 9	4-M20	PL- 6	3-M20	PL- 9	4-M20							
	H-400x200x8x13		PL- 9	6-M20	PL- 9	4-M20	PL- 9	4-M20							
	H-390x300x10x16		PL-12	8-M20	PL- 9	4-M20	PL- 12	4-M20							
450	H-446x199x8x12	PL- 9 (外) PL-12 (内)	4-M20	PL- 6	3-M20		PL- 9	4-M20							
	H-450x200x9x14	PL-12	6-M20	PL- 9	5-M20		PL- 9	5-M20							
	H-440x300x11x18	PL-12	8-M20	PL- 9	5-M20		PL- 9	5-M20							
500	H-496x199x9x14	PL-12	6-M20	PL- 9	4-M20		PL- 12	6-M22							
	H-500x200x10x16	PL-12	6-M20	PL- 9	5-M20		PL- 12	6-M20							
	H-488x300x11x18	PL-12	8-M22	PL- 12	5-M22		PL- 12	6-M20							

接合部は鋼材倶楽部 鉄骨構造標準接合部に準ずる事



調査ポイント図

調査ポイントレベル(mm)	
BM±0	
No.A	+ 90
No.B	+150
No.C	+ 60
No.D	+110
No.E	+160
No.F	+110

※寸法表示単位 (mm)

構造担当 有限会社 藤木隆司建築設計事務所
1級建築士事務所 広島県知事登録 21(1)2157号
1級建築士登録 第126381号 構造一級 第5747号 藤木 隆司

5-1. スクリューウェイト貫入試験

調 査 名		令和6年度小学校施設整備事業板城西小学校校舎寿命化改修及びFV棟増築設計業務				測点番号		A			
調査場所		広島県東広島市黒瀬町小多田257				調査年月日		2025年03月26日			
孔口標高		BM +0.09 m		天候		晴れ		最終貫入深さ		1.39 m	
孔内水位		無		水位の記録		水位なし		試 験 者		千葉 圭一	
備 考						試験方法		全自動式SWS			
何重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均転数 Nsw	記 号		推定 土質図	荷重 Wsw(kN)	貫入量1m当りの 平均転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa kN/m ²
		0.25	25		音感・感触		貫入状況				
		0.50	25		掘削						
					掘削						
100	48.0	0.75	25	192	ガリガリ		砂質土			14.8	> 120
100	53.0	1.00	25	212	ガリガリ		砂質土			16.2	> 120
100	31.0	1.25	25	124	ガリガリ		砂質土			10.3	104.4
100	71.0	1.39	14	507	ガリガリ	空転	砂質土			> 30	> 120

5-1. スクリューウェイト貫入試験

調査名				測点番号							
令和6年度小学校施設整備事業板城西小学校校舎寿命化改修及びFV棟増築設計業務				C							
調査場所		広島県東広島市黒瀬町小多田257		調査年月日		2025年03月26日					
孔口標高		BM +0.06 m	天候	晴れ		最終貫入深さ 3.06 m					
孔内水位		無	水位の記録	水位なし		試験者 千葉 圭一					
備考				試験方法		全自動式SWS					
荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均転数 Nsw	記号		推定 土質	荷重 Wsw(kN)	貫入量1m当りの 平均転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa kN/m ²
		0.25	25		掘削						
		0.50	25		掘削						
100	15.0	0.75	25	60	ジャリジャリ		砂質土			6.0	66.0
100	4.0	1.00	25	16	ジャリジャリ		砂質土			3.0	39.6
100	10.0	1.25	25	40	ジャリジャリ		砂質土			4.6	54.0
100	32.0	1.50	25	128	ガリガリ		砂質土			10.5	106.8
100	61.0	1.75	25	244	ガリガリ		砂質土			18.3	> 120
100	61.0	2.00	25	244	ガリガリ		砂質土			18.3	> 120
100	73.0	2.25	25	292	ガリガリ		打撃	砂質土		21.5	> 120
100	66.0	2.50	25	264	ガリガリ		打撃	砂質土		19.6	> 120
100	73.0	2.75	25	292	ガリガリ		打撃	砂質土		21.5	> 120
100	72.0	3.00	25	288	ガリガリ		打撃	砂質土		21.2	> 120
100	58.0	3.06	6	967	ガリガリ		空転	砂質土		> 30	> 120

5-1. スクリューウェイト貫入試験

調査名		令和6年度小学校施設整備事業板城西小学校校舎寿命化改修及びFV棟増築設計業務				測点番号		E			
調査場所		広島県東広島市黒瀬町小多田257				調査年月日		2025年03月26日			
孔口標高		BM +0.16 m		天候		晴れ		最終貫入深さ			
孔内水位		無		水位の記録		水位なし		試験者			
備考						試験方法		全自動式SWS			
荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均転数 Nsw	記号		推定 土質	荷重 Wsw(kN)	貫入量1m当りの 平均転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa kN/m ²
		0.25	25		音感・触感	貫入状況	土質名				
		0.50	25			掘削					
						掘削					
100	4.0	0.75	25	16	ジャリジャリ		砂質土			3.0	39.6
0.75	0.0	1.00	25	0			砂質土			1.5	22.5
0.75	0.0	1.25	25	0			砂質土			1.5	22.5
100	8.0	1.50	25	32	ジャリジャリ		砂質土			4.1	49.2
100	47.0	1.75	25	188	ガリガリ	打撃	砂質土			14.5	> 120
100	45.0	2.00	25	180	ガリガリ		砂質土			14.0	> 120
100	55.0	2.25	25	220	ガリガリ		砂質土			16.7	> 120
100	25.0	2.50	25	100	ガリガリ		砂質土			8.7	90.0
100	164.0	2.69	19	863	ガリガリ	空転	砂質土			> 30	> 120

5-1. スクリューウェイト貫入試験

調査名					測点番号							
令和6年度小学校施設整備事業板城西小学校校舎寿命化改修及びFV棟増築設計業務					B							
調査場所					広島県東広島市黒瀬町小多田257							
調査年月日					2025年03月26日							
孔口標高		BM +0.15 m		天候		晴れ		最終貫入深さ				
孔内水位		無		水位の記録		水位なし		試験者				
備考								千葉 圭一				
備考								試験方法				
								全自動式SWS				
荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均転数 Nsw	記 号			推定 土質別	荷重 Wsw(kN)	貫入量1m当りの 平均転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa kN/m ²
					腐蝕・膨脹	貫入状況	土質名					
		0.25	25			掘削						
		0.50	25			掘削						
100	7.0	0.75	25	28	ジャリジャリ		砂質土				3.8	46.8
100	2.0	1.00	25	8	ジャリジャリ		砂質土				2.5	34.8
100	14.0	1.25	25	56	ジャリジャリ		砂質土				5.7	63.6
100	7.0	1.50	25	28	ジャリジャリ		砂質土				3.8	46.8
100	12.0	1.75	25	48	ジャリジャリ		砂質土				5.2	58.8
100	44.0	2.00	25	176	ガリガリ		砂質土				13.7	> 120
100	61.0	2.25	25	244	ガリガリ		砂質土				18.3	> 120
100	38.0	2.50	25	152	ガリガリ		砂質土				12.1	> 120
100	50.0	2.75	25	200	ガリガリ		砂質土				15.4	> 120
100	44.0	2.79	4	1100	ガリガリ	空転	砂質土				> 30	> 120

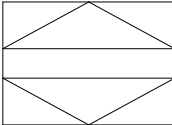
5-1. スクリューウェイト貫入試験

調 査 名		令和5年度小学校施設整備事業板城西小学校校舎寿命化改修及びFV棟増築設計業務										測 点 番 号		D	
調 査 場 所		広島県東広島市黒瀬町小多田257										調 査 年 月 日		2025年03月26日	
孔口標高		BM +0.11 m		天 候		晴れ		最終貫入深さ		3.32 m					
孔内水位		無		水位の記録		水位なし		試 験 者		千葉 圭一					
備 考												試験方法		全自動式SWS	
荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均転数 Nsw			記 号		推定 土質	荷重 Wsw(kN)	貫入量1m当りの 平均転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa kN/m ²		
				有感・感地	貫入状況	土質名									
		0.25	25			掘削									
		0.50	25			掘削									
100	46.0	0.75	25	184	ガリガリ	打撃	砂質土					14.3	> 120		
100	12.0	1.00	25	48	ジャリジャリ		砂質土					5.2	58.8		
100	0.0	1.25	25	0			砂質土					2.0	30.0		
100	33.0	1.50	25	132	ガリガリ		砂質土					10.8	109.2		
100	36.0	1.75	25	144	ガリガリ		砂質土					11.6	116.4		
100	47.0	2.00	25	188	ガリガリ		砂質土					14.5	> 120		
100	33.0	2.25	25	132	ガリガリ		砂質土					10.8	109.2		
100	101.0	2.50	25	404	ガリガリ	打撃	砂質土					29.0	> 120		
100	71.0	2.75	25	284	ガリガリ	打撃	砂質土					21.0	> 120		
100	82.0	3.00	25	328	ガリガリ	打撃	砂質土					23.9	> 120		
100	114.0	3.25	25	456	ガリガリ	打撃	砂質土					> 30	> 120		
100	91.0	3.32	7	1300	ガリガリ	空転	砂質土					> 30	> 120		

5-1. スクリューウェイト貫入試験

調 査 名		令和6年度小学校施設整備事業板城西小学校校舎寿命化改修及びFV棟増築計画業務				測点番号		F			
調査場所		広島県東広島市黒瀬町小多田257				調査年月日		2025年03月26日			
孔口標高		BM +0.11 m		天候		最終貫入深さ		260 m			
孔内水位		無		水位の記録		水位なし		試 験 者 千葉 圭一			
備 考						試験方法		全自動式SWS			
荷重 Wsw (kN)	半回 転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均転数 Nsw	品 事 圧入・感地 圧入状況 土質名		推定 土質	荷重 Wsw(kN)	貫入量1m当りの 平均転数 Nsw	換算 N値	許容 支持力 qa kN/m ²
		0.25	25		掘削			0.25 0.50 0.75 1.00 1.25 1.50 1.75 2.00 2.25 2.50	26 52 78 104 130 156 182 208 234 260		
		0.50	25		掘削						
100	25.0	0.75	25	100	ガリガリ	砂質土				8.7	90.0
100	24.0	1.00	25	96	ガリガリ	砂質土				8.4	87.6
100	11.0	1.25	25	44	ジャリジャリ	砂質土				4.9	56.4
100	53.0	1.50	25	212	ガリガリ	打撃	砂質土			16.2	> 120
100	32.0	1.75	25	128	ガリガリ	砂質土				10.5	106.8
100	26.0	2.00	25	104	ガリガリ	砂質土				8.9	92.4
100	90.0	2.25	25	360	ガリガリ	砂質土				26.1	> 120
100	26.0	2.50	25	104	ガリガリ	砂質土				8.9	92.4
100	119.0	2.60	10	1190	ガリガリ	空転				> 30	> 120

訂正	月	日	協同組合建築設計団SOU間	設計年月日	設計	校図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事	図面番号
			1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号		製図	担当	承認年月日	図面名称	渡り廊下棟 基礎地盤説明書	縮尺 (A2:100% A3:70.7%) NS
			1級建築士 前岡 正伸 第234595号							S — 1023



角形鋼管

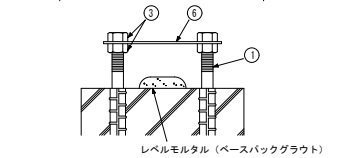
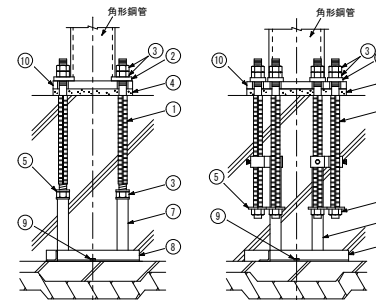
F値295N/mm²以下

□-150×150 ～ □-300×300 用

露出型弾性固定柱脚工法（参考図） ベースバック柱脚工法 設計標準図（参考図）

1. 工法概要

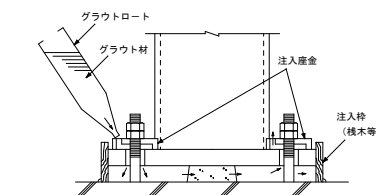
1. 1 構成部材



- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ ベースバックグラウト（グラウト材）
- ⑤ 定着座金
- ⑥ テンプレート
- ⑦ フレームポスト
- ⑧ フレームベース
- ⑨ ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
- ⑩ ベースプレート

（注）上記①～⑩の構成部材はベースバック構成部品として供給される。
（注）上記⑥～⑩は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1. 2 柱脚の定着方法概要



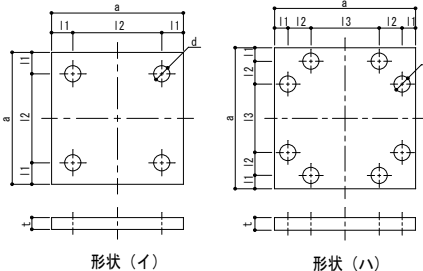
2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235 STKR400	
295	BCR295 TSC295	○

3. 構成部材・寸法

3. 1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】



3. 3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3. 4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

適用 アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	SS400
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

適用 アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	SS400

3. 5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	適用 アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3. 2 アンカーボルト（Mアンカーボルト）

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

呼び d	異形部 呼び名	L (注1)	X	b (注1)	単位 mm
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

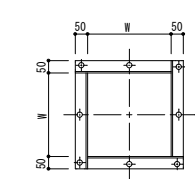
注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

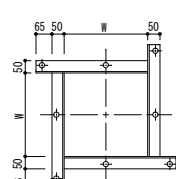
呼び d	異形部 呼び名	L	X	単位 mm
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

3. 6 フレームベース

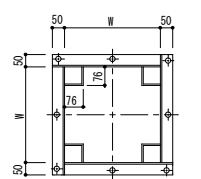
i) Aタイプ



ii) Cタイプ



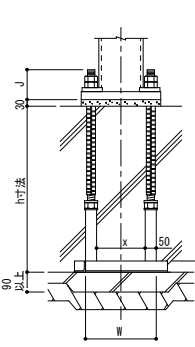
iii) 特Cタイプ



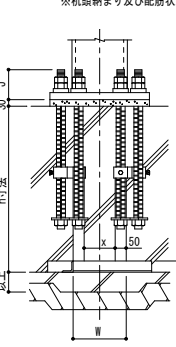
3. 7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースバックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

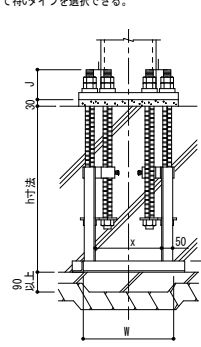
< Aタイプ >



< Cタイプ ※ >



< 特Cタイプ >



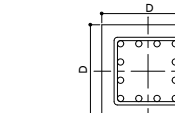
単位 mm

採用	ベースバック 記号	柱		材質	形状	ベースプレート						アンカーボルト		アン カー フレ ーム タイプ	コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)	
		外径 (mm)	板厚 (mm)			寸法 (mm)						本数	呼び		基準強度 (N/mm ²)	寸法D (mm)		配筋	設計基準強度 (N/mm ²)	寸法W (mm)		寸法X (mm)			
						a	t	l1	l2	l3	d					標準フレーム	特C			立上り筋	フープ筋	標準フレーム			特C
	15-12V	□-150×150	t≤12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-D16	D13@100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≤12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-D19	D13@100	21以上	280	-	180	-	600	135
	20-09V	□-200×200	t≤9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-D16	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	20-12V	□-200×200	t≤12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-D19	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≤9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-D19	D13@100	21以上	360	-	260	-	650	150
○	25-12V	□-250×250	t≤12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-D19	D13@100	21以上	370	-	270	-	650	150
	25-16V	□-250×250	t≤16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-D19	D13@100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≤9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-D22	D13@100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≤12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	650	135
	30-16V	□-300×300	t≤16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	700	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	700	150
	30-19V	□-300×300	t≤19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-D22	D13@100	21以上	340	540	240	400	700	150

4. コンクリート柱型

4. 1 形状・材質

●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

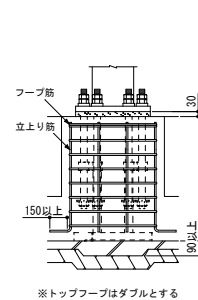


●コンクリート

普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D19, D22)

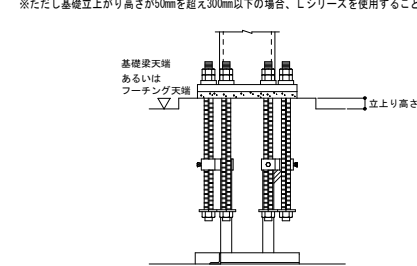
4. 2 配筋



※トップフープはダブルとする

4. 3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。



5. 工場製作（溶接）

■組立

●ベースプレートの中心線（ヶ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）

●完全溶込み溶接とする。（JASS 6 鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の優先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より）

図	溶接 方法	適用板厚 t (mm)	ルート間隔G (mm)		ルート間隔R (mm)		間角α (°)		溶接 姿勢
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
図1 溶接 方法 6	溶接 方法 6	6~	7	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1: 45	-2, +0 (-5, +0)	下向き
			9	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1: 35	-2, +0 (-5, +0)	下向き
		6~	6	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1: 45	-2, +0 (-5, +0)	下向き
			7	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1: 35	-2, +0 (-5, +0)	下向き

許容差・記号+0は制限無しを示す。

・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段：組立・現場許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温（鋼材表面温度）が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚 (mm)		
		t<32	32≤t<40	40≤t≤50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50℃	50℃
CO ₂ ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理：7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6. 1 基礎工事

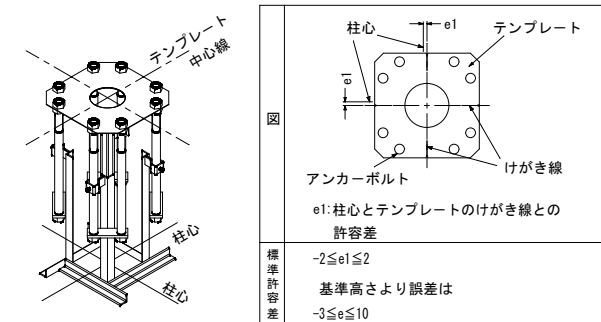
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6. 2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



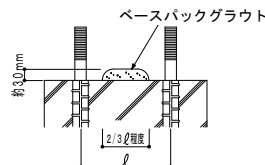
6. 3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6. 4 建方

●レベLMタルはベースバックグラウト（グラウト材）を使用し、大きさは右図による。



6. 5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6. 6 ベースバックグラウト（グラウト材）の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋（6kg）に対して、計量カップで1.0~1.1 ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6. 2 アンカーボルト据付け及び6. 6 ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースバック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

構造担当 有限会社 藤木隆司建築設計事務所

1級建築士事務所 広島県知事登録 21(1)2157号

1級建築士登録 第126381号 構造一級 第5747号 藤木 隆司

協同組合建築設計団SOU間

1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号
広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号

1級建築士 前岡 正伸

第234595号

設計年月日

設計

検 図

承認印

工事名称

令和8年度 小学校施設整備事業

図面番号

板城西小学校校長寿命化改良及び増築工事

製 図

担 当

承認年月日

図面名称

渡り廊下棟

縮尺 (A2:100% A3:70.7%)

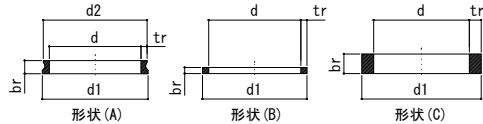
NS

S — 1024

鉄骨梁貫通孔補強工法 OSリング[®]工法設計施工標準図（参考図）

1. 形状寸法及び鋼種

標準貫通 孔径 (do)	適用貫通 孔径 (dw)*1	品名	形状	寸法 (mm)						S*4
				d	d1	d2	br	tr		
φ 100	φ 75～ φ 100	100SS	B	102	122	—	10	10		5 (6)
		100S	○	100	122	120	20	11		5 (6)
		100L	A	100	144	140	33	22		9
φ 125	φ 101～ φ 125	125SS	B	127	151	—	12	12		5 (6)
		125S	A	125	151	149	24	13		5 (6)
		125L	B	125	177	171	39	26		9
φ 150	φ 126～ φ 150	150SS	B	152	178	—	13	13		5 (6)
		150S	○	150	178	176	27	14		5 (6)
		150L	A	150	208	202	44	29		9
φ 175	φ 151～ φ 175	175SS	B	177	205	—	14	14		6
		175S	A	175	207	203	30	16		6
		175L	B	175	241	233	50	33		9
φ 200	φ 176～ φ 200	200SS	B	202	232	—	15	15		6
		200S	A	200	234	230	32	17		6
		200L	A	200	270	262	53	35		9
φ 250	φ 201～ φ 250	250SS	B	252	288	—	18	18		6
		250S	A	250	290	286	39	20		6
		250L	A	250	332	322	63	41		9
φ 300	φ 251～ φ 300	300SS*5	B	302	342	—	20	20		7
		300S	A	300	346	340	43	23		7
		300L	B	300	374	—	70	37		12
φ 350	φ 301～ φ 350	300L*2	C	313*3	391	—	64	39		12
		350SS	B	352	396	—	22	22		7
		350S	A	350	400	394	47	25		7
φ 400	φ 351～ φ 400	350L	B	350	430	—	78	40		12
		350L*2	C	363*3	448	—	73	42.5		12
		400S	B	400	446	—	51	23		7
φ 450	φ 401～ φ 450	400S*2	C	413*3	461	—	48	24		7
		400L	B	400	490	—	89	45		13
		400L*2	C	413*3	508	—	84	47.5		13
φ 500	φ 451～ φ 500	450S	B	450	504	—	51	27		7
		450S*2	C	463*3	525	—	44	31		7
		450L	B	450	552	—	90	51		13
φ 500	φ 451～ φ 500	450L*2	C	463*3	568	—	88	52.5		13
		500S	B	500	558	—	55	29		8
		500S*2	C	513*3	575	—	51	31		8
φ 600	φ 501～ φ 600	600S	B	600	664	—	63	32		8
		600S*2	C	613*3	683	—	57	35		8

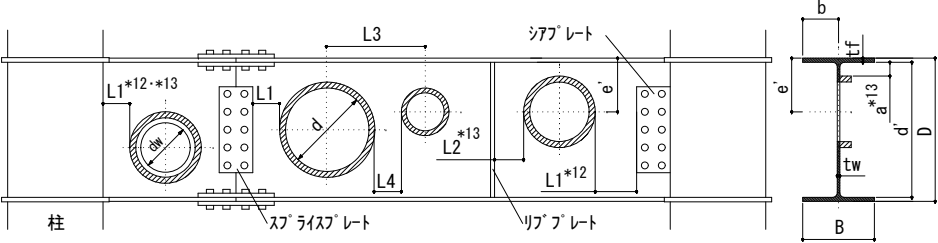


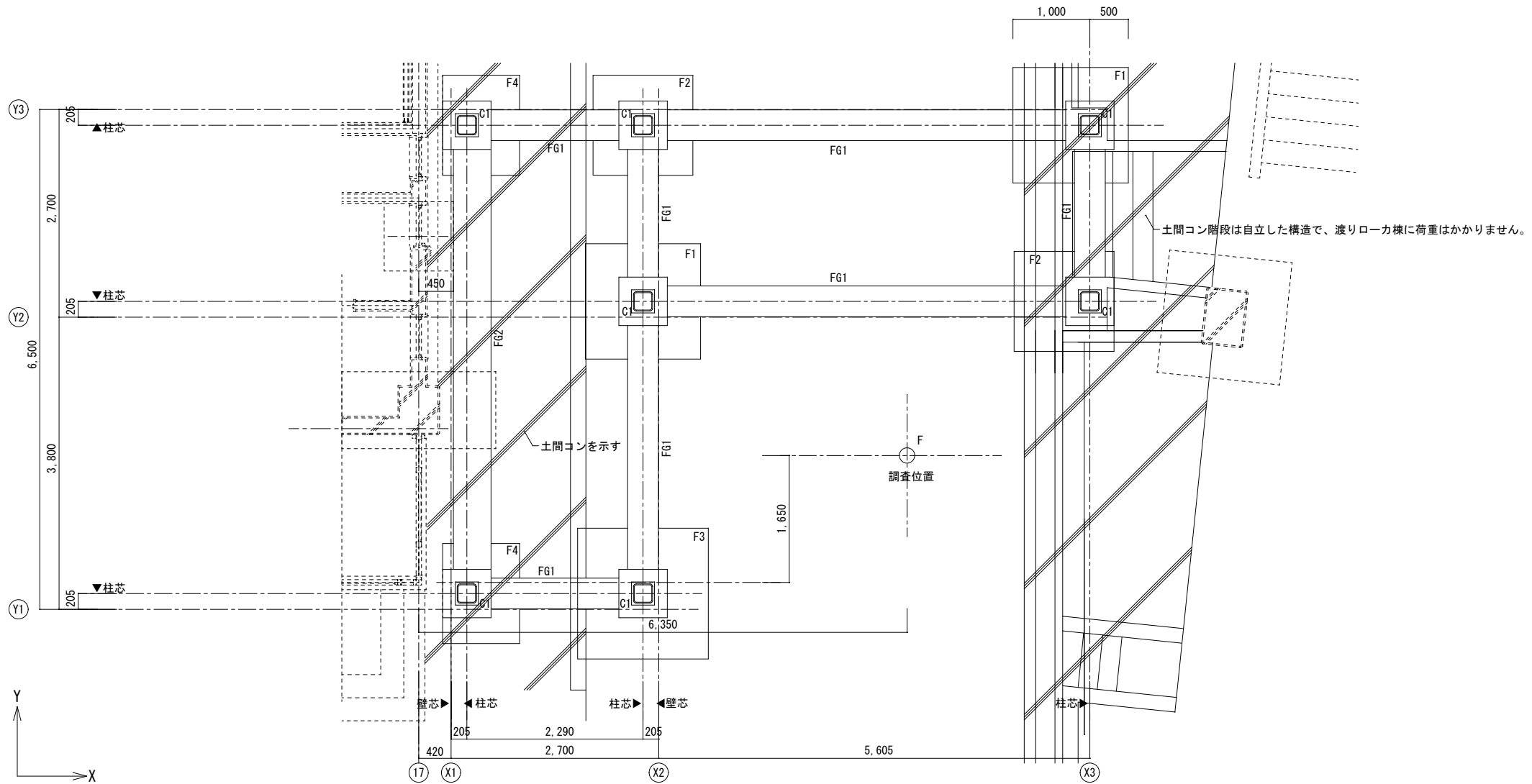
鋼材の種類および製造方法

形状 (A/B) 建築基準法第37条二号 国土交通大臣認定材
認定番号: MSTL-0561, 0601 (SNR490B相当) R-リング 鍛造加工
形状 (C) STKN490B 鋼管切断加工 または SN490B 厚板切断加工

2. 設計 (OSリングを検討の際は、「OSリング 工法設計ハンドブック」を必ず確認すること)

- 本工法は鉄骨造 (以下S造) または、鉄骨鉄筋コンクリート造 (以下SRC造) の鉄骨部分 (以下S部分) のH形断面 (R-HHまたはL-HH) の鉄骨梁に適用する。
- 貫通孔無しで構造設計を行った結果から得られる貫通孔位置の存在応力に対して、OSリング 工法を用いた貫通孔部分の耐力が上回る事を確認する必要があるので、OSリング の使用の決定は構造設計者により行う。





基礎伏図 S=1/50

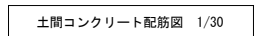
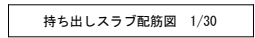
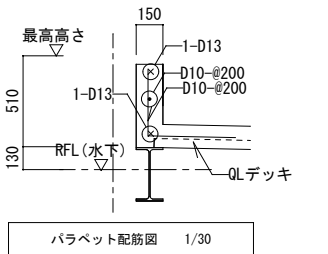
基礎形状 : 独立基礎
設計荷重度 : 120.0kN/m²

構造担当 有限会社 藤木隆司建築設計事務所
1級建築士事務所 広島県知事登録 21(1)2157号
1級建築士登録 第126381号 構造一級 第5747号 藤木 隆司

訂正	月. 日		協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事 渡り廊下棟 基礎伏図（改修後）	縮尺 (A2:100% A3:70.7%) 1/50	図面番号 S — 1026
						製 図	担 当	承認年月日	図面名称			

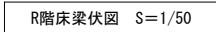
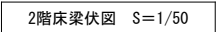
地中梁リスト

Figure 1: Reinforcement details of the roof slab. The diagram shows a cross-section of a roof slab with a total width of 6,500 mm. The slab is supported by two columns, Y1 and Y3, with a center-to-center distance of 6,500 mm. The slab thickness is 200 mm. The reinforcement details include top bars (D19) and bottom bars (D13) with a spacing of 200 mm. The slab is divided into three sections: a left section (1,120 mm), a middle section (3,180 mm), and a right section (1,790 mm). The middle section is further divided into two parts, each 760 mm wide. The slab is labeled 'F62' and 'F62'.



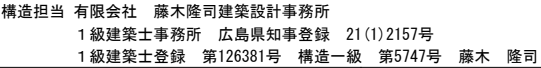
符 号	C1
形状図	
主 材	□-250×250×12
ベースプレート	420×420×36
アンカーボルト	4-M39 (BPM-SD490)
立上り筋	12-D19 (SD345)
フープ筋	D13@100 (SD295)
コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上

設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事	
	製 図	担 当	承認年月日	図面名称	渡り廊下棟 基礎リスト・配筋図（改修後）	縮尺 (A2:100% A3:70.7%) 1/50



面番号

訂正	月. 日	協同組合建築設計団 S O U 間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小中学校校舎長寿命化改良及び増築工事	図面番号	
											S — 1028



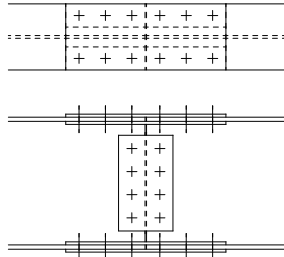
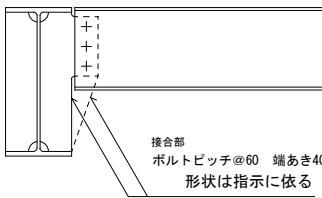
訂正	月、日		協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎寿命化改良及び増築工事		図面番号 S — 1029
					製 図	担 当	承認年月日	図面名称	渡り廊下棟 Y1・Y2・Y3通り 軸組図（改修後）		縮尺 (A2:100% A3:70.7%) 1/50	

部 材 断 面リスト					
名称	符号	階	部 材	備 考	
柱	C1	2	□-250x250x9	柱脚は既製品	
		1	□-250x250x12		
名称	符号	階	部 材	備 考	
大梁	G1	R	H-250x125x6x9	継手部は右リスト参照	
		2	H-300x150x6. 5x9		
	G2	R	H-250x125x6x9		
		2	H-300x150x6. 5x9		
	G1-1	R	H-244x175x7x11		
		2	H-294x200x8x12		
	CG1	R	H-250x125x6x9		
		2	H-300x150x6. 5x9		
名称	符号	階	部 材	備 考	
小梁	B1	R	H-150x75x5x7	仕口部は右リスト参照	
		2	H-200x100x5. 5x8		

鋼材材種		
柱	特記無き限り	BCR295
大梁	特記無き限り	SN400
小梁	特記無き限り	SS400
ホト	特記無き限り	S10T
タヤワム	特記無き限り	SN490C

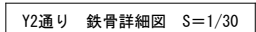
接合部リスト 1/30									
部材		H-300×150×6.5×9		H-250×125×6×9		H-244×175×7×11		H-294×200×8×12	
形状									

梁接合部

共 通 事 項			継 手				仕 口															
1 継手は小さい方のサイズ'に対して選択する。 2 スプライス、ガセット等は主材と同材質とする。 3 HTBは S-10Tとする。 4 溶融亜鉛めっき部分の摩擦面はブラスト処理を行う事 5 スプライスは2面せん断とする。			標準図 		スプライス巾 <table><tr><th>B</th><th>b</th></tr><tr><td>125</td><td>50</td></tr><tr><td>150</td><td>60</td></tr><tr><td>175</td><td>70</td></tr><tr><td>200</td><td>80</td></tr><tr><td>250</td><td>100</td></tr><tr><td>300</td><td>115</td></tr></table>		B	b	125	50	150	60	175	70	200	80	250	100	300	115	標準図 	
B	b																					
125	50																					
150	60																					
175	70																					
200	80																					
250	100																					
300	115																					
シリーズ		採用	フランジ		ウェブ		採用	ウェブ														
			スプライス	H. T. B (×4)	スプライス	H. T. B (×2)		ガセット	H. T. B (x2)													
125	H-125x60x6x8							R- 6	2-M16													
150	H-150x75x5x7						●	R- 6	2-M16													
175	H-175x90x5x8							R- 6	2-M16													
200	H-198x99x4. 5x7		R-12 (外のみ)	4-M16	PL- 6	2-M16		PL- 6	2-M16													
	H-200x100x5. 5x8		R-12 (外のみ)	4-M16	PL- 6	2-M16	●	R- 6	2-M16													
	H-194x150x6x9		R-9	4-M16	PL- 6	2-M16		R- 6	2-M16													
	H-200x200x8x12		R-9	4-M20	PL- 6	2-M20		R- 9	2-M20													
250	H-248x124x5x8		PL- 6 (外) PL- 9 (内)	4-M16	PL- 6	2-M16		PL- 6	2-M16													
	H-250x125x6x9	●	PL- 12	6-M16	PL- 6	4-M16	●	PL- 6	3-M16													
	H-244x175x7x11	●	PL- 9	4-M20	PL- 9	2-M20		PL- 9	2-M20													
300	H-298x149x5. 5x8		PL- 6 (外) PL- 9 (内)	4-M16	PL- 6	3-M16		PL- 6	3-M16													
	H-300x150x6. 5x9	●	PL- 9	4-M20	PL- 6	2-M20	●	PL- 6	3-M20													
	H-294x200x8x12	●	PL- 9	6-M20	PL- 9	3-M20		PL- 9	3-M20													
350	H-340x250x9x14		PL- 12	6-M22	PL- 9	3-M22		PL- 9	3-M20													
	H-346x174x6x9		PL- 9	6-M16	PL- 6	3-M16		PL- 9	4-M20													
	H-350x175x7x11		PL- 9	4-M20	PL- 6	3-M20		PL- 9	4-M20													
400	H-396x199x7x11		PL- 9	4-M20	PL- 6	3-M20		PL- 9	4-M20													
	H-400x200x8x13		PL- 9	6-M20	PL- 9	4-M20		PL- 9	4-M20													
	H-390x300x10x16		PL-12	8-M20	PL- 9	4-M20		PL- 12	4-M20													
450	H-446x199x8x12		R- 9 (外) R-12 (内)	4-M20	PL- 6	3-M20		PL- 9	4-M20													
	H-450x200x9x14		PL-12	6-M20	PL- 9	5-M20		PL- 9	5-M20													
	H-440x300x11x18		PL-12	8-M20	PL- 9	5-M20		PL- 9	5-M20													
500	H-496x199x9x14		PL-12	6-M20	PL- 9	4-M20		PL- 9	4-M20													
	H-500x200x10x16		PL-12	6-M20	PL- 9	5-M20		R- 12	6-M20													
	H-488x300x11x18		PL-12	8-M20	PL- 12	8-M20		R- 12	6-M20													

接合部は鋼材倶楽部 鉄骨構造標準接合部に準ずる事
鉄骨の継手仕口は建設省告示第1464号による事

										構造担当 有限会社 藤木隆司建築設計事務所 1 級建築士事務所 広島県知事登録 21 (1) 2157号 1 級建築士登録 第126381号 構造一級 藤木 隆司			
訂正	月・日		協同組合建築設計団S O U間 1級建築士事務所 広島県知事登録24 (1) 第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設設置備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事		図面番号 S ——— 1031	
											渡り廊下棟		縮尺 (A2:100% A3:70.7%)
											部材断面リスト・梁接合部リスト (改修後)		1/30



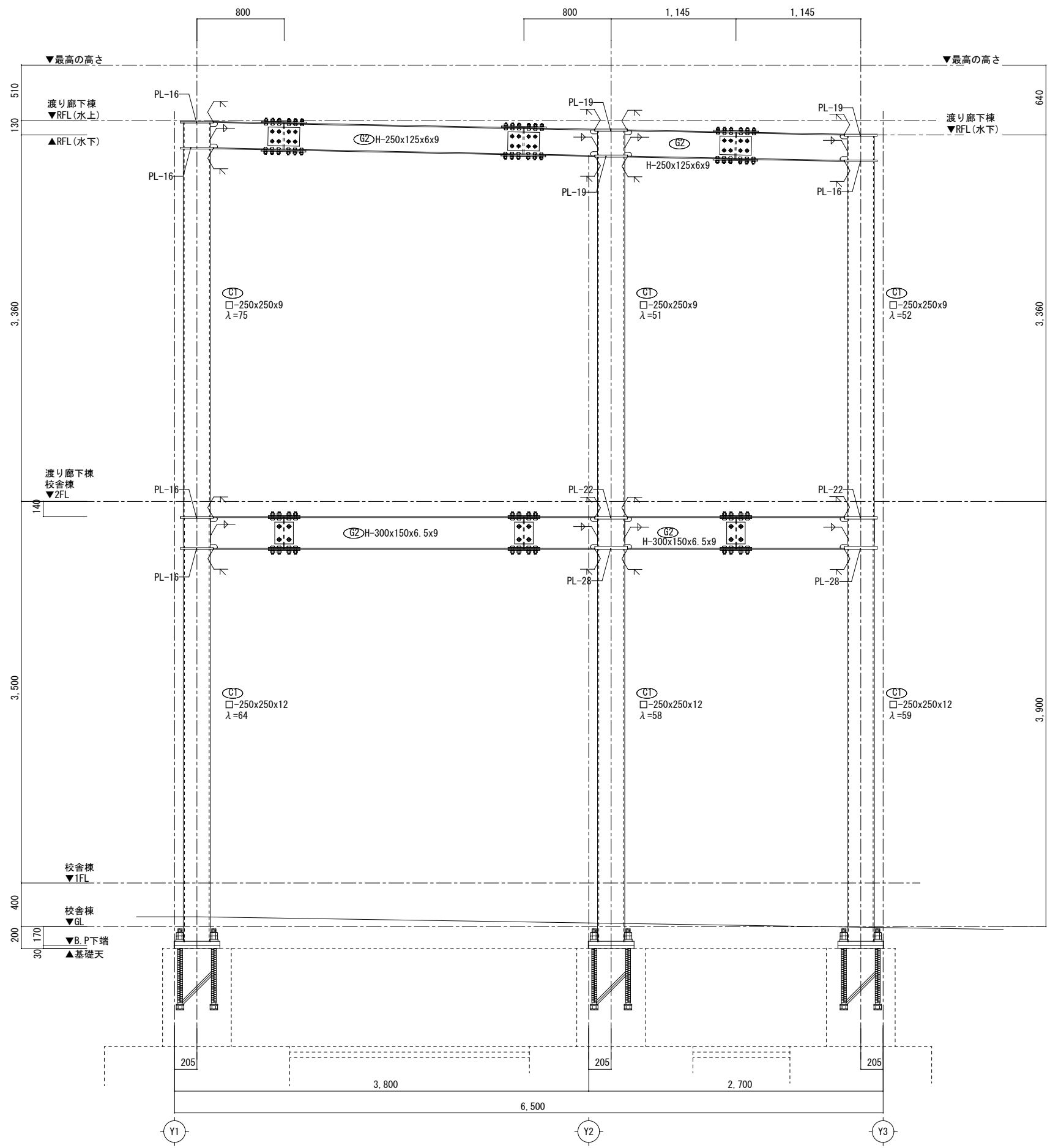
協同組合建築設計団 S O U 間
1級建築士事務所 広島県事登録24(1)第5062号
広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号

1級建築士 前岡 正伸
第234595号

設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校長寿命化改良及びEV棟増築工事	
	製 図	担 当	承認年月日	図面名称	渡り廊下棟 Y2通り 鉄骨詳細図（改修後）	縮尺（A2:100% A3:70.7%） 1/30

S — 1032

訂正	月. 日	



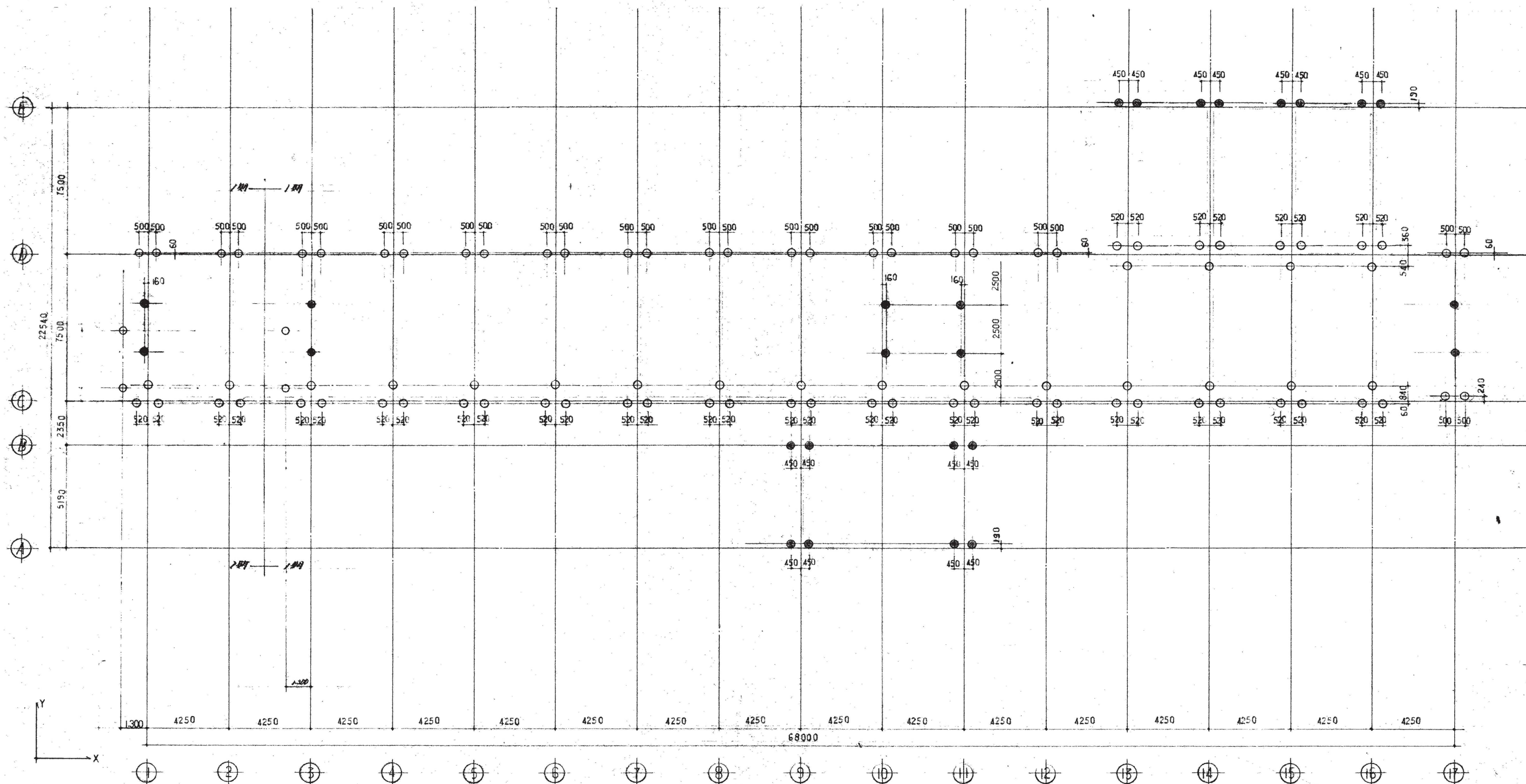
X2通り 軸組図 S=1/50

構造担当 有限会社 藤木隆司建築設計事務所
1級建築士事務所 広島県知事登録 21(1)2157号
1級建築士登録 第126381号 構造一級 第5747号 藤木 隆司

協同組合建築設計団SOU間
1級建築士 前岡 正伸
第234595号

設計年月日	設計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校長寿命化改良及びEV棟増築工事	図面番号
	製 図	担 当	承認年月日	図面名称	渡り廊下棟 X2通り 鉄骨詳細図 (改修後)	S — 1033

訂正	月 日	



使用材料

鉄筋 SR24, SD30

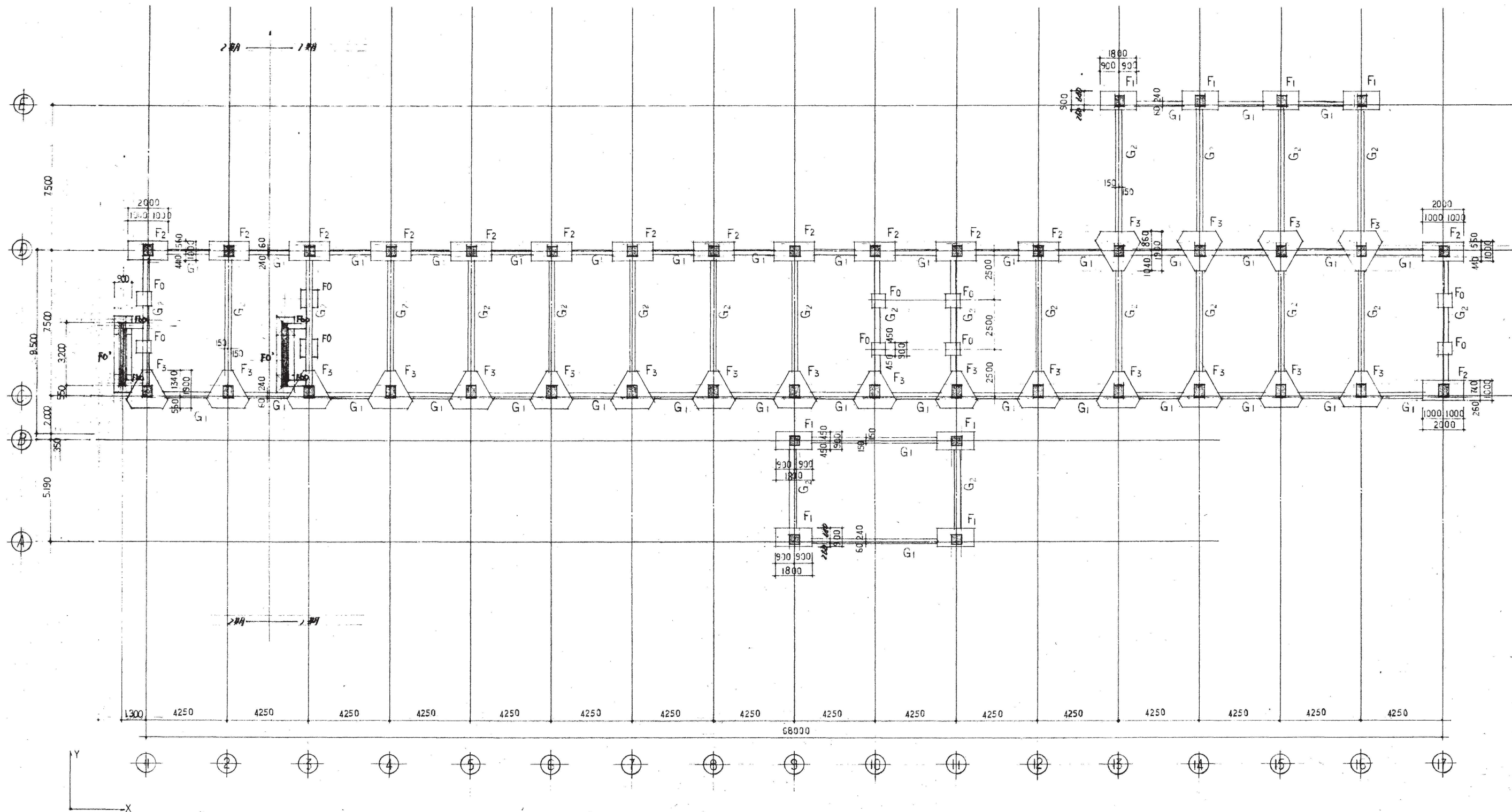
コンクリート 設計基準強度 $F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$

図面基準 図面及び特記仕様書に記載しているほか、建設大臣官庁告示第24号
鉄筋工の施工基準に依る

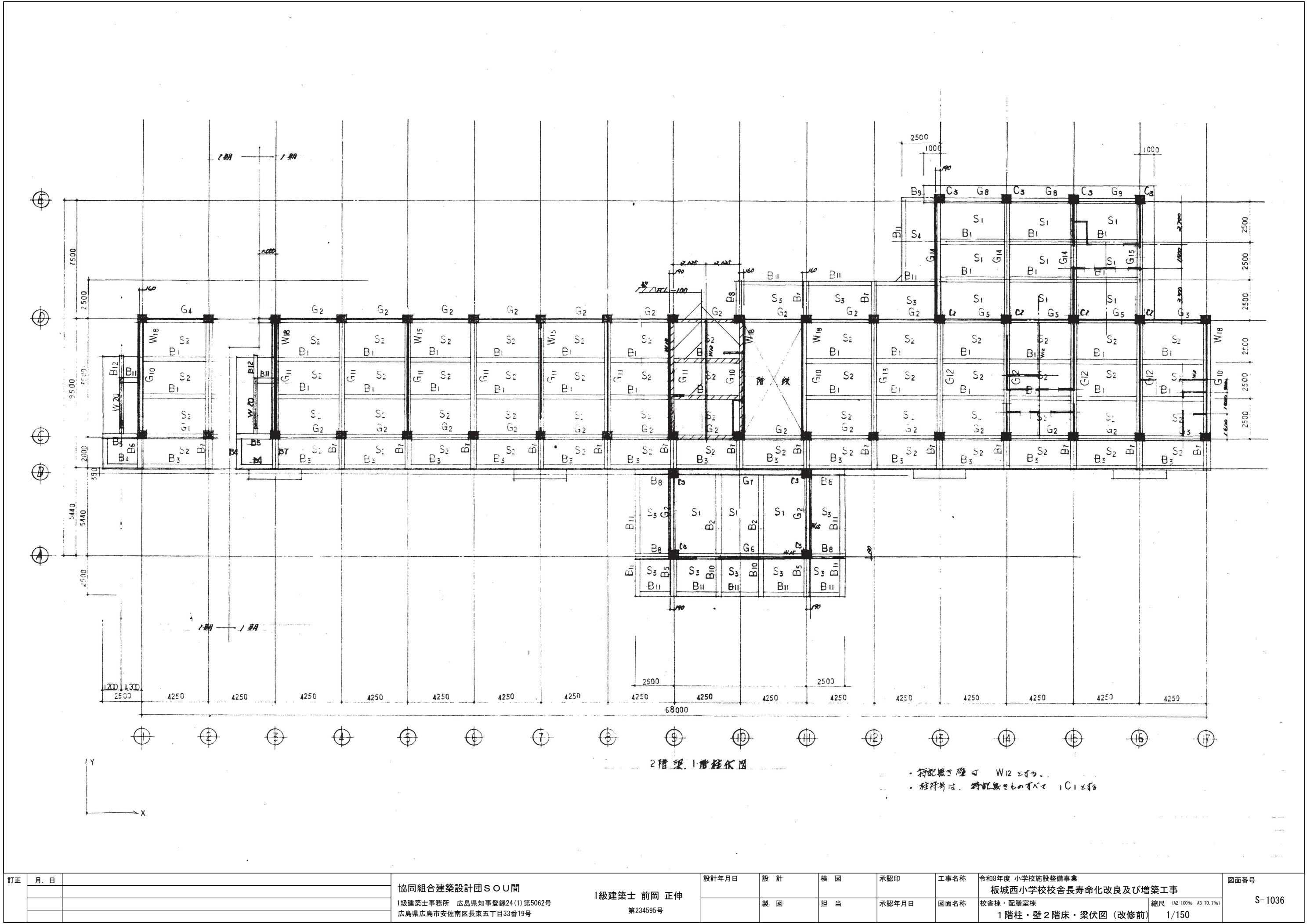
● 300 ϕ
○ 400 ϕ

訂正	月 日	協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設計	検 図	承認印	工事名称 令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事	図面番号 S-1034
					製 図	担 当	承認年月日	図面名称 校舎棟・配膳室棟 杭伏図（改修前）	

縮尺 (A2:100% A3:70.7%)
1/150



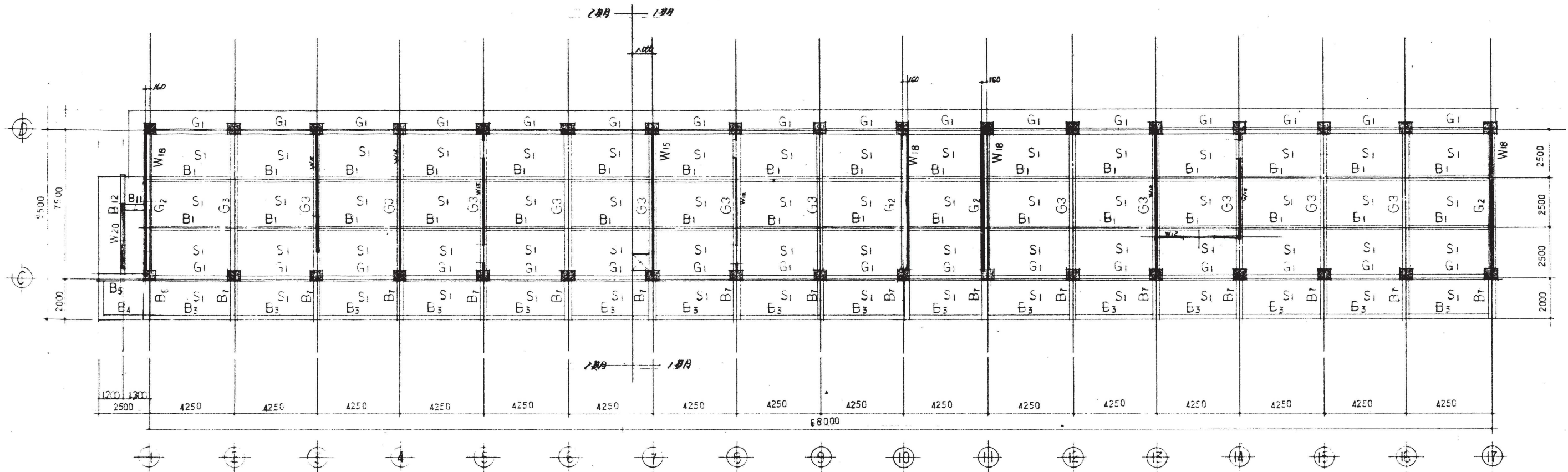
訂正	月 日	協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設 計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事 校舎棟・配膳室棟 基礎伏図 (改修前)	図面番号 S-1035
					製 図	担 当	承認年月日	縮尺 (A2:100% A3:70.7%) 1/150		



2階梁1階柱伏図

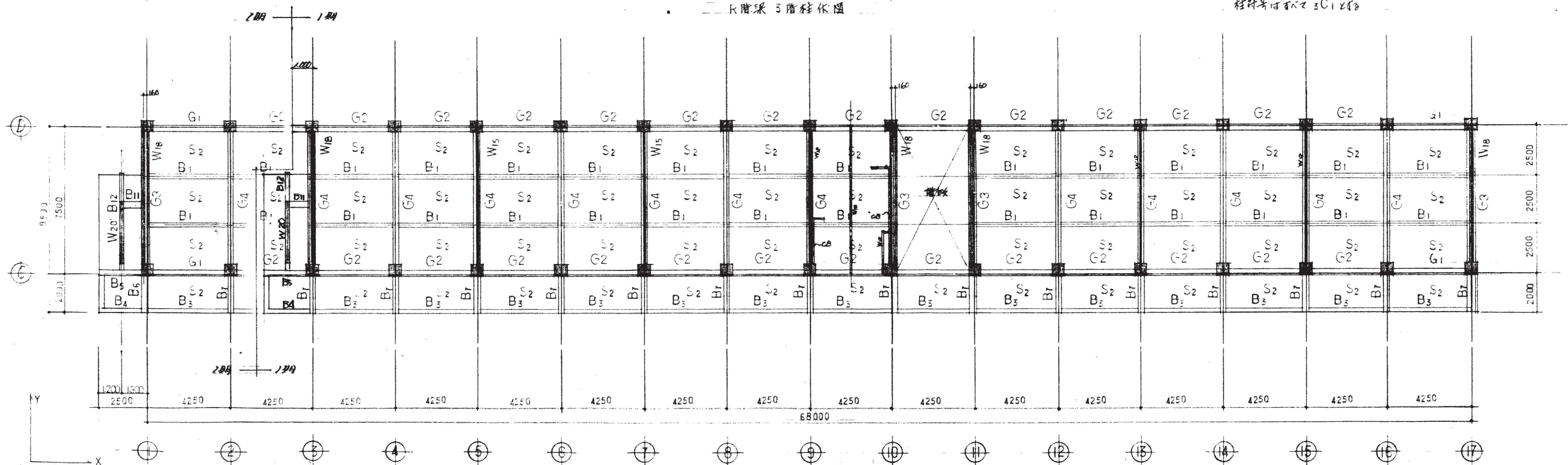
・持記無き壁は W12 とする。
・柱番号は、持記無きものはすべて IC1 とする

訂正	月・日	協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事 校舎棟・配膳室棟 1階柱・壁2階床・梁伏図(改修前)	図面番号 S-1036
					製 図	担 当	承認年月日	図面名称		



2階床 3階柱伏図

柱番号はすべて 3C12φ



3階床 2階柱伏図

柱番号はすべて 2C12φ

訂正	月 日	協同組合建築設計団SOU間 1級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 広島県広島市安佐南区長束五丁目33番19号	1級建築士 前岡 正伸 第234595号	設計年月日	設計	検 図	承認印	工事名称	令和8年度 小学校施設整備事業 板城西小学校校舎長寿命化改良及び増築工事 校舎棟 2階柱・壁3階床・梁伏図(改修前) 3階柱・壁屋根床・梁伏図(改修前)	縮尺 (A2:100% A3:70.7%) 1/150	図面番号 S-1037
					製 図	担 当	承認年月日	図面名称			